

「英訳マンガから見る英語表現の一考察—『4月は君の嘘』を事例として」(『新教育課程研究』第39号、武蔵野教育研究会、令和5年10月)、1-36頁

「プロローグ」「1 新川直司『四月は君の嘘』」「2 『四月は君の嘘』と *Your Lie in April*」
「3 *Your Lie in April*の冒頭」「エピローグ」の順で論じた。中学生ならではの会話などが英語表現として有用であることを紹介した。(A5)